

# 第5回 仙台医療介護連携の会

## ご報告

開催日時:平成26年8月21日(木)19:00~20:30

会場:仙台サンプラザホテル

### 内容

#### 【情報提供1】

これまでの話し合いのまとめ  
情報共有と資源の見える化について

#### 【グループ討議】

「連携のための  
情報共有  
について」



### 出席委員 18名(仙台市圏域を中心に構成)

市医師会3、市歯科医師会1、市薬剤師会1、県看護協会1  
県訪看連絡協議会1、県ケアマネジャー協会1、市地域包括協議会1  
市老人福祉施設協議会1、県老人保健施設協議会1、県認知症グループホーム  
協議会1、仙台介護サービスネットワーク1、県病院協会3、学識経験者2

### オブザーバー4名

宮城県:医療整備課2  
仙台市:障害者支援課1、介護予防推進室1



## 連携のための情報共有について

### Aグループ

FacebookやLINEを通じて情報共有しているグループも結構あるが、他の医療機関とやり取りの時には難しい問題もある。電話かFAX。ただ診療中に電話は出られない。FAXで返事書いて返すのがいい。

FAXで送る情報は、非常に微妙な情報で送信ミスしてはいけない。

電子カルテは、インターネットには継がない。患者データが、ウィルスで外に漏らされたらどうしようもない。

病院内、施設内は院内ネットワークがあり共有できている。

つながりラインも、MMWINも、利用者が多く入って活用できるといい。

FAXは白黒なので、カラーの情報もあると傷の具合とかが良く分かる。

TV会議みたいなのが出来ると医師も参加しやすい。距離が縮まる。

ケア会議は困難ケースのみで精一杯。介護予防マネジメントなどを進めるには参加しやすい環境作りが必要。

つながりラインは見えない事業所の情報や、喀痰吸引等の情報を得るのに活用できるといい。

SOSネットワークは登録のない高齢者は探してもらえず。探せるような仕組みに。

1億国民が、認知症を隠さず認知する状況を作らない限りは、徘徊のチェックは無理だと思う。認知症になるのは当たり前のこととして普及啓発していかないといいけない。

### Bグループ

Facebookと連動させ最初はつながりラインから入り普段はFacebookのつながりがいいかも。セキュリティの問題を充分確保しながら使えば、色々な使い方も出てくるのではないかと。

これからの仕事は介護事業所や訪看と密に連絡を取る展開になりそう。バーチャルケア会議ができれば医師も参加しやすい。事前に情報をもらいコメントを流す等活用できるのでは。

ひとつのページで色々な検索ができること、担当者会議の調整ができるのは良い。

地図で施設が視覚的に分かるのは非常に良い。診療情報提供書とか暗号化しなければハッキングされる。医療的な情報は郵送か持参かFAXで送って電話確認がいい。

FAXはログインの手間なく都合の良い時に見れる。一筆加えて返信すればいい。

個人情報が入ったPCは外に継がない。

病院の機能分化で地域包括ケア病床のところでつながりラインがどう使われるか興味深い。

パソコンは使えない方がいる。本当の見える化は、地域の方が情報を知り得る冊子かな。

若い世代はスマホでSNSを使って情報交換がとても速い。黒電話の世代と若い世代をどう繋げていくか。既存の集まりと新しいシステムの両立が必要。医療も既存の医師の集まりが在宅を支えているが、それをどうやって新しいシステムの中で活かすのが大事。

今後の展開として、一般の検索機能を付加するのは誰もが見るようになっていい。

情報が欲しい人は検索して探している。つながりラインも検索内容を増やしてほしい。

### Cグループ

褥瘡を写真で送ったり、動画とかをドクターにというのをつながりラインでやり取りできるのかも。しかし連携している人が入会していなければ、どんどん啓発して広げることが必要。

使えるスタッフが何人かしかいなかったり、アナログ的な人が職員の中にいたりすると、どこまで使えるのかと不安。

共通のフォーマットでオンラインで繋がっていると便利。

共通の診断書やアセスメントの共通様式は、使い勝手を同じようにしてつながりラインに載せれば、お金も掛からなくて済む。先生の書く負担も減るなど考えられるのでは。

気仙沼や石巻でローカルネットワークはあり、違うツールを使っている。県全体で統一したものがあればと思うが、ローカルなものはそこの方々が選んだものなので、それはそれでいいのでは。

情報は施設情報と患者情報があり、仙台だと選択枝が多く施設情報がまず欲しいが、郊外に行くと施設情報よりも決まった相手と患者情報の共有と、スタイルが違う可能性がある。地域の特性に合わせる必要がある。

介護の世界だと、医療の情報がほとんど入らない。訪問など対応していただけるのかわからないので電話して説明を聞く。介護をカバーしてもらうための医療の情報が得られる方法があると助かる。

在宅で見るには核家族化や収入が少ないなどで家族が受け入れない。GHや施設が大事な資源だがスタッフ不足がある。有床診療所ももっと地域にあっていい。